

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公開番号】特開2015-17053(P2015-17053A)

【公開日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-006

【出願番号】特願2013-144733(P2013-144733)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/55	(2006.01)
A 6 1 K	8/14	(2006.01)
A 6 1 K	8/42	(2006.01)
A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/55
A 6 1 K	8/14
A 6 1 K	8/42
A 6 1 K	8/81
A 6 1 Q	19/00
A 6 1 K	9/127
A 6 1 K	47/24
A 6 1 K	47/18
A 6 1 K	47/32

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

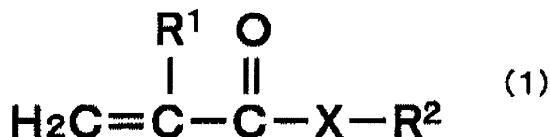
次の成分A、Bを少なくとも構成成分として含むベシクルと、成分Cとを含有することを特徴とするベシクル分散組成物。

A) リン脂質

B) セラミド

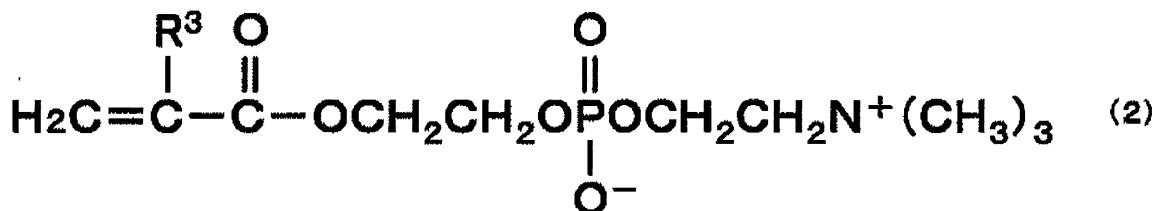
C) 一般式(1)で表されるモノマーから誘導される構成単位を必須構成単位として含有するポリマー及び一般式(2)で表されるモノマーから誘導される構成単位を必須構成単位として含有するポリマーからなる群から選択される一種又は二種以上のポリマー

【化 1】



(一般式(1)中、R¹は水素原子またはメチル基を、R²はアミノ酸残基、ポリアミン残基又はアミノアルコール残基を表す。Xは酸素原子又はNHで表される基を表す。)

【化 2】



(一般式(2)中、R³は水素原子またはメチル基を表す。)

【請求項2】

前記リン脂質がレシチンである、請求項1に記載のベシクル分散組成物。

【請求項3】

さらに、植物抽出エキスを含有する、請求項1または2に記載のベシクル分散組成物。

【請求項4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のペシクル分散組成物の製造方法であって、

(i) 水相に、前記成分Cを分散させ、分散液を得る工程、及び、

(i i) 前記得られた分散液に、予め調製した前記成分 A および B を少なくとも構成成分として含むベシクルを分散させ、ベシクル分散組成物を得る工程、

を含む、製造方法。

【請求項5】

請求項1～3のいずれか1項に記載のペシクル分散組成物を含む、皮膚外用剤。